



天見地区最大のイベント！

4月23(日)、「桜の花見会」に天見地区民生委員・児童委員7人が参加しました。この行事は天見6地区の福祉委員会が合同で天見駅前広場にて主催するもっとも大きいイベントであり、今回で15回目を迎えました。

当日はお天気にもめぐまれ約250人が参加し、満開の八重ざくらの下、お年寄り、子どもたちが、お寿司・おそばを食べ、又、久しぶりに会った他地区の人達とゲームやおしゃべりをして交流を深めました。

今年は、はじめての試みで「天見地区蕎麦作り同好会」が地区の休耕田に蕎麦を栽培して、社会福祉協議会の吉村会長に300食のそばを打ってもらって参加者にふるまいました。天見駅前の花壇を管理している「天見花クラブ」からも花の種の配布があり、各団体との連携を持ちました。

＊参加者の声＊

地区で採れた蕎麦と聞いて味わい深く頂きました。また来年も楽しみにしています。



みんなで子どもたちを見守る

5月8日(月)市役所802会議室で、市内小中学校の校長との連絡会が開かれ、主任児童委員13人が参加しました。この連絡会は6年前からスタートし、児童・生徒が安心して学校で生活するための情報交換と、学校教育と家庭教育とのつながりになれるようにとの目的で実施されています。去年からはCSW(コミュニティ・ソーシャル・ワーカー)が、今年からはSC(スクール・カウンセラー)とSSW(スクール・ソーシャル・ワーカー)が参加するようになりました。

主任児童委員部会山本部長が年間活動の説明、委員の自己紹介、校長会会長の長野中学校松本校長からのあいさつと自己紹介、CSWの自己紹介、SCの自己紹介、SSWの自己紹介と続き、この日の主目的である情報交換、懇談会を中学校単位に分かれて行いました。



「希望のチカラ」とは

第69回大阪府民生委員児童委員大会が、12日(金)に大阪国際交流センター大ホールで開かれました。第1部の式典のあと、第2部では東京大学社会科学研究所教授玄田有史(げんだゆうじ)氏が「希望のチカラ」をテーマに講演をしました。

ホワイトボードとマーカだけの講演でしたが、玄田氏の今まで出会った人との関わりの話から、「希望と夢のちがいは何か?」「希望の4本の柱」へと話が展開されていきました。最後に「希望は求め続けることが大切。ただ、一人ではなかなか手に入れることが難しい。その時に誰かそばに寄り添うことによって前に進むことができます。誰かの希望のためにそっと寄り添うのがみなさんがた民生委員・児童委員の活動につながるように思えます」とまとめていました。

